

(令和7年度東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験受験の皆様へ)

技術系(教育研究支援系技術)募集内容

技術系「電気」「機械」「土木」「化学」「物理」「電子・情報」「農学」「生物・生命科学」(教育研究支援系)については、以下のとおり第二次試験を実施します。

試験区分が「機械」「農学」で一次試験合格の方は、岐阜大学・名古屋大学いずれの受験も可能です(両方申込要)。

また、試験区分が「化学」「物理」「農学」「生物・生命科学」で一次試験合格の方は、名古屋大学の募集区分に該当する技術支援室いずれの受験も可能です(それぞれ申込要)。

1.【募集区分】「機械」または「土木」

部 署 名	全学技術センター ものづくり工学技術教育支援室(工学)
勤 務 地	岐阜大学
採用予定数	1名
職 務 内 容	主に岐阜大学工学部において以下の業務を行う。 1. 学生実習の技術支援・指導に関すること。 2. 研究・実験用装置等の設計・製作に関すること。 3. 機械工場の機械・器具の管理及び整備保全に関すること。 4. 工場利用者に対する機械操作方法(安全教育・技術指導)に関すること。
第2次選考	令和7年8月下旬～9月上旬

2.【募集区分】「農学」

部 署 名	全学技術センター フィールド科学技術支援室(応用生物)
勤 務 地	岐阜大学
採用予定数	1名
職 務 内 容	主に岐阜大学応用生物科学部において以下の業務を行う。 1. 教育研究計画に基づく動植物の管理・加工及び森林の管理・保全に関すること。 2. 学生の実習教育の指導補助に関すること。 3. センターにおいて大学教員等が行なう試験・研究の補助に関すること。 4. 地域における農業及び林業の改良普及に関すること。 5. その他業務に関する技術的事項を処理すること
第2次選考	令和7年8月下旬～9月上旬

次ページに続く

3.【募集区分】

「電気」または「機械」または「化学」または「物理」または「電子・情報」または「生物・生命科学」

部 署 名	全学技術センター 装置開発技術支援室(理学)
勤 務 地	名古屋大学
採用予定数	1名
職 務 内 容	主に名古屋大学大学院理学研究科及び関連研究施設において、教育・研究に関する以下の業務を行う。 1. 研究用実験機器・装置の設計・開発及び製作 2. 研究用実験機器等の試作および調整 3. 装置開発技術の技術指導及び機械工作技術に関する技術指導、実習 4. フィールド観測技術支援 5. He の液化および液化窒素の管理など、寒剤の供給、維持、安全管理
第2次選考	令和7年8月27日(水)

4.【募集区分】「化学」または「生物・生命科学」

部 署 名	全学技術センター 分析・物質技術支援室(医学)
勤 務 地	名古屋大学
採用予定数	1名
職 務 内 容	主に名古屋大学大学院医学系研究科において教育・研究を支援するために、以下の業務を行う。 1. 組織標本作製受託 2. 医学教育研究支援センター分析機器部門(名古屋大学共用集積施設<分析系3>)における、設置機器の維持管理、技術指導、講習会の開催 3. 病理・法医解剖の介助 4. その他上記業務に付随すること
第2次選考	令和7年8月26日(火)

5.【募集区分】「化学」または「物理」または「農学」または「生物・生命科学」

部 署 名	全学技術センター 分析・物質技術支援室(農学)
勤 務 地	名古屋大学
採用予定数	1名
職 務 内 容	主に名古屋大学大学院生命農学研究科において、教育・研究に関する以下の業務を行う。 1. 研究用分析機器・設備を用いた構造解析、組成分析、表面分析などの機器分析及び試料作成・調製に関する技術支援と保守管理及び技術開発と技術指導 2. 設備・機器共用推進室と連携した共用システム運用に関する支援業務 3. その他必要に応じて、上記に関連する機器を用いた分析、保守管理及び技術開発と技術指導
第2次選考	令和7年8月29日(金)

次ページに続く

6. 【募集区分】「化学」または「物理」または「農学」または「生物・生命科学」

部 署 名	全学技術センター 分析・物質技術支援室（工学）
勤 務 地	名古屋大学
採用予定数	1名
職 務 内 容	主に名古屋大学大学院工学研究科において、教育・研究に関する以下の業務を行う。 1. 各種分析装置の維持管理、操作・測定サポート、技術指導、依頼測定・解析支援 2. 実験・実習に係わる教育支援 3. 実験装置・研究試料の作製及び技術開発支援 4. 設備・機器共用システムに関する支援業務
第2次選考	令和7年9月1日（月）

以上